

## 2015 年度 小委員会活動成果報告

(2016 年 2 月 12 日作成)

|                              |  |                               |                               |
|------------------------------|--|-------------------------------|-------------------------------|
| 小委員会名                        | 光環境デザイン小委員会  |                               | 主 査 名：吉澤 望<br>就任年月：2015 年 5 月 |
| 所属本委員会<br>(所属運営委員会)          | 環境工学委員会<br>(光環境運営委員会)  |                               | 委員長名：羽山 広文<br>主 査 名：明石 行生     |
| 設 置 期 間                      | 2015 年 4 月 ～ 2017 年 3 月  |                               |                               |
| 設 置 目 的<br>各年度活動計画<br>(箇条書き) | 光環境デザインシンポジウムの開催を通じて、建築光環境に関わる建築家・照明設計者・研究者間の交流を図り、「光」さらには「見え」に関わる幅広い意見交換を進めること、および建築関係者や一般の人々に向けて、光環境・視環境の重要性や面白さを伝えていくことを主たる目的とする。   |                               |                               |
| 委員構成<br>(委員名 (所属))           | 委員公募の有無：有  |                               |                               |
|                              | 主査：吉澤 望 (東京理科大学)<br>幹事：坂東卓 (清水建設(株))、望月悦子 (千葉工業大学)<br>委員：石井大五 (フューチャースケープ建築設計事務所)、内田伸 (石川工業高等専門学校)、北村薫子 (武庫川女子大学)、笹部和代 (清水建設)、鈴木千穂 (遠藤照明)、鈴木博隆 (神戸大学)、関博紀 (東京都市大学)、中村芳樹 (東京工業大学) |                               |                               |
| 設置 WG<br>(WG 名：目的)           |  |                               |                               |
| 2015 年度予算                    | 65,000 円   | ホームページ公開の有無：無<br>委員会 HP アドレス： |                               |

| 項 目   | 自己評価  |
|---|---|
| 委員会開催数  | 3 回 (年度内計画を含む)  |
| 刊行物<br>(シンポジウム資料等は<br>除く)                     | 日本建築学会編『光の建築を読み解く』  |
| 講習会   | なし <span style="float: right;">参加者数 名</span>                                  |
| 催し物<br>(シンポジウム・セミナー等)<br>*能力開発支援事業委員会<br>承認企画 | 第 14 回光環境デザインシンポジウム ―山梨知彦と語る光の建築―   |
| 大会研究集会  | なし  |
| 対外的意見表明・パ<br>ブリックコメント等                        | なし  |
| 目標の達成度<br>(当初の活動計画と得ら<br>れた成果との関係)            | 1. 2015 年 9 月に閉館となったホテルオークラ本館ロビーの光環境を測定・記録した。<br>2. 第 14 回光環境デザインシンポジウムを開催した。 |
| 委員会活動の問題点<br>・課題                              | なし  |

## 2015 年度 小委員会活動 自己評価

### (中間年度評価)

| 総合評価<br>(4段階評価)                 | A  | B | C | D |
|---------------------------------|--|---|---|---|
| 総合評価に関する<br>自由記述欄<br>(理由、特記事項等) | <p>これまでに開催してきたシンポジウムの内容ならびに委員会にて調査、実測してきた事例をまとめて『光の建築を読み解く』を刊行した。</p> <p>また、例年通り、建築家を招いて光環境について語るシンポジウム、今年度は山梨知彦氏を招き、第14回光環境デザインシンポジウムを開催した。</p> |   |   |   |

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
  - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
  - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
  - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
  - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。